



## 新規事業 県内小中学校に非常勤講師40人を配置

### 二十年度予算 七年連続減額

県は、平成二十年度当初予算案を二月十四日に発表した。予算規模は、前年度比一・九%減で、六月補正後比三・〇%減となり、戦後初の七年連続減となった。平成二十年度当初予算案は、昨年溝口善兵衛知事が平成二十九年年度の収支均衡を目指して策定した「財政健全化基本方針」の初年度となる。

教育については現在実施しているサポート事業は継続される予定である。

#### ◎「特別な支援のための非常勤講師配置事業

(ここにサポート事業)

特に対応が困難な小学校を対象に、非常勤講師を配置。

#### ◎「中学校クラスサポート事業」

必要性の高い大規模校に非常勤講師を配置。

#### ◎「小学校低学年多人数学級支援事業

(クラスサポート事業・三〇人学級編制事業)

新規事業は次のとおりである。

#### ▼「学びいきいきサポート事業」

不登校、不登校等支援を要する児童生徒が在籍している学校の内、自学教室を設置するなどして個別に指導を行っている小中学校に非常勤講師を四十人配置。

#### ▼「学校支援地域本部事業」

学校と地域との連携協力体制を構築するため、地域をあげて学校を支援する機運を醸成するとともに、多様な形態の学校支援ボランティア活動の掘り起こしを行う。

また、地域活性化のための重点配分として、

#### ▼「いじめ・不登校対策事業」

不登校児童の多様な学びの場や居場所の充実、サポート強化などを実施するとともに、こころの医療センターに併設する若松分校内に医療と連携した教育相談窓口を設置。

#### ▽「ふるさと教育推進事業」

この他、継続事業として、県内全ての公立小中学校・全学年・全学級で「ふるさと教育」を実施するため、定額交付金を助成。

島教協としては、予算案縮小であるが、教育は未来への先行投資と考え、今後も「子供のためになる施策」を提言・要望していく考えである。また、給与カットが現行のまま四年間続く予定であるが、教職員の勤務条件等の改善も引き続き訴えていく考えである。

### 専従しपोर्टインフォ

二月十六日(土)、山口県周南市で行われた山口県教職員団体連合会主催の教職員の資質向上講座に、島教協石原事務局長が参加した。「教師力、そして学校力の向上へ」と題して、TOS代表の向山洋一氏が講演を行った。当日は、三百名を超える参加者があるほどの盛会であった。「二、三分でできることを学んでいない」という向山氏の言葉が印象的であった。

来年度も島根県教育文化研究所は、会員のニーズにあった参加したくなる講演会を企画していく。

### 申請忘れ

ありませんか？

島教協慶弔規定

- ①結婚したとき  
5,000円
- ②子女誕生  
5,000円
- ③永年勤続30年  
5,000円
- ④病气見舞金  
5,000円  
(傷病休暇1ヶ月)
- ⑤住宅災害見舞金  
状況に応じて

問い合わせ・申請は、事務局までお願いします。

# 授業時数増、学習指導要領改訂案公表

文科省は、一月十七日の中央教育審議会答申を受け、二月十五日（金）幼稚園教育要領、小学校学習指導要領科及び中学校学習指導要領の改訂案を公表した。今回の改訂で約三十年ぶりに授業数が増加した。

## 【改訂案の主なポイント】

- 教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成
- 知識・技能の修得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

## 【教育内容の主な改善事項】

- △言語活動の充実  
国語科において読み書きなどの基本的な力を定着させた上で、各教科等において記録、説明、論述、討論といった学習活動を充実
- △理数教育の充実  
国際的な通用性、内容の系統性、小・中学校での学習の円滑な接続を踏まえた指導内容を充実
- △伝統や文化に関する教育の充実  
国語科での古典、社会科での歴史学習、音楽科での唱歌・和楽器、美術科での我が国の美術文化、保健体育科での武道の指導などを充実
- △道徳教育の充実  
道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開することを明確化
- △体験活動の充実

## △外国語教育の充実

積極的にコミュニケーションを図る態度を育成し、言語・文化に対する理解を深めるため、小学校高学年に外国語活動を導入。中学校においては、コミュニケーションの基盤となる語彙数を充実するとともに、聞く・話す・書くを総合的に行う学習指導を充実。

指導内容の増加が見込まれる算数・数学、理科については、平成二十一年からの移行期間から内容を追加して指導する必要があるという。具体的な内容や必要な事業時数の確保、教材の提供の方途などについて今後検討が成される。

今後の予定は次のとおりである。

- 平成二十一年四月一日 幼稚園教育要領 施行
- 四月一日 小・中学校において移行措置開始
- 平成二十三年四月一日 小学校学習指導要領施行
- 平成二十四年四月一日 中学校学習指導要領施行



## 紹介文 受付中

「学校紹介文」をFAXで随時受け付けています。学校・地域の紹介、研究発表・実践紹介などを掲載し、現場の様子、会員の皆様の様子を伝えていきます。より多くの現場の様子を伝えるためにも、ご協力をお願いいたします。



## 奥出雲町立八川小学校

奥出雲町の一番奥に位置しているのが八川小学校です。校区内には、国道314号線の「おろちろちろちろ橋」、木次線を走るトロッコ列車、延命水に八川そばなど、名所が多くあり、その自然と文化環境を生かした教育活動を行っています。

10/19 奥出雲町教育研究発表をしました。

国語科 自分の思いを豊かに表現する児童の育成～「読むこと」を中心にして～